

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和04年01月17日

計画の名称	快適な生活を支えるまちづくりの推進														
計画の期間	平成28年度 ～ 令和02年度（5年間）											重点配分対象の該当			
交付対象	尾張旭市														
計画の目標	下水道処理施設の増設工事及び長寿命化対策を実施し、衛生的で快適な生活を支えるまちづくりを進める。 また、雨水幹線、排水路の整備を進めることにより、雨に強いまちづくりを進める。														
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		1,857	A	1,857	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H28当初)	(H30末)	(R2末)
1	故障発生による処理停止リスクを解消するため、電気設備の長寿命化対策実施率を0%（H27末）から2%（R2）に増加させる。			
	電気設備の故障発生による処理停止リスクの解消 （長寿命化対策実施済の設備数）÷（耐用年数を5年以上超過した設備数）×100	0%	2%	2%
2	北原山地区の区画整理に併せ、雨水幹線、雨水管渠を整備することにより、同地区の浸水対策実施率を48.3%（H27末）から68.1%（H29）に増加させる。			
	北原山地区の浸水対策実施率 （浸水対策実施済区域面積（ha））÷（浸水対策を実施すべき区域面積（ha））×100	48%	68%	68%
3	災害時の指定避難所において、マンホールトイレの整備を0基（H28末）から10基（H29）に増加させる。			
	マンホールトイレの設置基数	0基	10基	10基

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	尾張旭市	直接	尾張旭市	終末処 理場	改築	東部浄化センター受変電 設備（長寿命化）	改築・更新	尾張旭市			■	■	■	520		未策定	
		ストックマネジメント																		
	A07-002	下水道	一般	尾張旭市	直接	尾張旭市	終末処 理場	新設	西部浄化センター水処理 設備（水質保全）	水処理施設（２系の増設）	尾張旭市	■						600		－
	A07-003	下水道	一般	尾張旭市	直接	尾張旭市	終末処 理場	改築	西部浄化センター監視制 御設備（長寿命化）	改築	尾張旭市	■	■	■				480		策定済
		長寿命化																		
	A07-004	下水道	一般	尾張旭市	直接	尾張旭市	－	－	効率的な事業実施のため の計画策定等	調査・検討	尾張旭市	■	■					45		－
	A07-005	下水道	一般	尾張旭市	直接	尾張旭市	管渠（ 污水）	－	污水管渠耐震診断調査業 務	污水管渠耐震診断調査	尾張旭市	■						20		－
	A07-006	下水道	一般	尾張旭市	直接	尾張旭市	管渠（ 雨水）	新設	北原山地区（浸水対策）	雨水管φ800～□4,500×2,50 0 L=450m	尾張旭市	■	■					176		－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-007	下水道	一般	尾張旭市	直接	尾張旭市	管渠（ 汚水）	新設	マンホールトイレ設置業 務	マンホールトイレの整備	尾張旭市		■				16	—	
		総合地震																	
											小計						1,857		
											合計						1,857		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
尾張旭市下水道課にて評価を実施	令和４年１月
	公表の方法
	事後評価後、ホームページにて公表する。
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	【電気設備の故障発生による処理停止リスクの解消】老朽化した西部浄化センター監視制御設備の一部を更新し、故障発生による処理停止リスクの解消に貢献した。 【北原山地区の浸水対策実施率】雨水管渠の整備を行い、豪雨時における市民生活の向上に貢献した。 【マンホールトイレの設置基数】マンホールトイレの整備を行い、災害時における市民生活の向上に貢献した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	・事業計画の作成を行い、今後の下水道事業推進の方向性を定めた。 ・污水管渠耐震診断調査を行い、耐震対策の必要性の有無を確認した。 ・東部浄化センター受変電設備等の長寿命化のため、実施設計を行い、工事に着手した。
○特記事項（今後の方針等）	
【電気設備の故障発生による処理停止リスクの解消】東部浄化センターの電気設備に関しては、長寿命化工事を令和２年度から着手したため、目標値に入っていない。 【北原山地区の浸水対策実施率】重点配分項目の切り出しにより、平成３０年度以降は防災・安全交付金（重点計画）にて事業を行っている。 【マンホールトイレの設置基数】重点配分項目の切り出しにより、平成３０年度以降は防災・安全交付金（重点計画）にて事業を行っている。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	電気設備の故障発生による処理停止リスクの解消		
	最 終 目標値	2%	
	最 終 実績値	2%	
2	北原山地区の浸水対策実施率		
	最 終 目標値	68%	
	最 終 実績値	68%	
3	マンホールトイレの設置基数		
	最 終 目標値	10基	
	最 終 実績値	10基	